



▲いじめ撲滅のための意見を発表する代表生徒

「いじめ」について考える中学生フォーラム  
撲滅へ向けた取り組みを発表

8月2日、りぶらん（道場小路）で、「いじめ」について考える中学生フォーラムが行われました。

参加した市内全中学校の代表生徒達は、各校のいじめ防止の取り組みを発表した後、いじめ防止で大切なことは何か、どうしたら防いでいけるのかを話し合いました。

「同じ言葉でも、一人ひとり感じ方が違うので、相手を思いやる気持ちが大切」「いじりが、いじめに発展する前に、声をかけていくことが必要」など、いじめ撲滅へ向けた意見が発表されました。



▲公開シンポジウムで、意見を交換する参加者

公開シンポジウム「高校生世代と地域協働」  
高校生と共に地域協働を考える

7月22日、「地域と高校生の協働」を考える公開シンポジウムが、マイタウン白河（本町）で開催されました。コミュニティ・カフェを運営するEMANON準備室が主催したもので、教育関係者の基調講演後、高校生と教育関係者が意見交換しました。iClub代表理事の小川悠さんは「未来を創造する人材を育てるためには、地域協働の視点が必要」と講演し、高校生が地域で学ぶ必要性を訴えました。また、本市と南相馬市の生徒ら三グループが、それぞれの取り組みを発表しました。



▲踊り流しで息の合った踊りを披露する様子

白河関まつり  
夏の風物詩を満喫

8月6日、JＲ白河駅前周辺で「白河関まつり」が行われました。小峰通りでは、高円寺阿波踊り連協会による特別演舞が披露されたほか、浴衣姿などの23団体、約1,300人が「白河関の踊り流し」で観客を魅了しました。夜には「市民納涼花火大会」で城山公園から5、200発の花火が打ち上げられ、来場者は、夏の風物詩を満喫しました。

また、白河駅前イベント広場では、商工会議所青年部による「しらかわ魂2017いぐべっ!!夏祭り」が行われ、多くの方が訪れ楽しみました。



▲真剣な表情で練習に取り組む小学生

「駅伝のまちしらかわ推進プロジェクト」  
子どもたちの競技力向上を目指す

市では、「しらかわ駅伝」を契機とした地域振興や、子どもたちの陸上競技力向上を目的に、7月24日から28日まで「ゴールデンエイジ陸上スクール」を開催しました。指導を受けた小学生は「普段意識しない筋肉のストレッチなど、とても勉強になる」などと話し、真剣な表情で練習に取り組んでいました。

また、8月3日・4日には、駒澤大学陸上競技部による「ランニングクリニック」が開催され、本市出身で男子マラソン前日本記録保持者の藤田敦史さんが指導を行いました。



▲野球教室での心構えを説明する桑田真澄氏

美くじスポーツフェア「ドリーム・ベースボール」  
往年の名選手が夢を届ける

8月20日、表郷天狗山球場（表郷番沢）に、金田正一氏など、24名の元プロ野球選手が訪れ、ドリーム・ベースボールが開催されました。

小中学生を対象に野球教室が開催されたほか、元プロ野球選手のドリームチームと、市選抜チームとの親善試合などが行われました。

会場には、往年の名選手のプレートを一目見ようと、約2,600人の観衆が詰め掛けました。野球教室に参加した小学生は「有名な選手に直接指導してもらえてうれしい」と、貴重な体験を喜んでいました。



▲捕まえた昆虫の解説を聞く参加者

楽しい森林体験教室  
元気いっぱい昆虫探索

7月30日、南湖森林公園（菅生館）で、「楽しい森林体験教室」が開催されました。今回は、福島虫の会の三田村敏正氏を講師に招き、同公園内の昆虫を観察しました。

子どもたちは、虫取り網を手に、森や林の中をかけまわり、トンボやバッタなどを捕まえては、講師から昆虫の生態などを学びました。

「NPO法人南湖森林公園案内人の会」では、年6回の体験イベントを通して、里山の魅力と自然の大切さを伝えながら、森林との共生を目指しています。